

2011.10.15

— 宮司の祝詞奏上 —

例祭 (10月15日)

阿蘇神社 <http://asojinja.jp/>

報社 あそみや

平成23年11月1日

第 52 号

発行所

阿蘇神社社務所

多良見町化屋862

☎ 0957-43-5235

万里一空

阿蘇神社

宮司 大島 大明

四年振りに日本人として大関に昇進した琴奨菊は、伝達式の口上で「万里一空の境地を求めて、日々努力、精進いたします」と力強く新大関としての心構えを表現しました。

「万里一空」は、江戸初期の剣豪宮本武蔵の兵法書『五輪書』よりの引用で、「どんなに遙か遠くまでいっても、空は一つしかない。すべてのものは一つの世界にとどまっている」と解釈されて、「目的、目標、

やるべきことを見失わずに励み頑張り続ける」の意味で使われることが多いそうです。

横綱朝青龍の引退以降、不祥事続きで大相撲への信頼・人氣は大きく落ち込んでいます。日本人横綱不在が長いのも人氣低迷の一因であれば、新大関には横綱という目標に向かって、突き進むことを切望したいし、万里一空の境地を求める心が、私たちの日々の生活にも浸透することを願いたい。

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であって、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を発揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をにかけて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、
明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、
神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

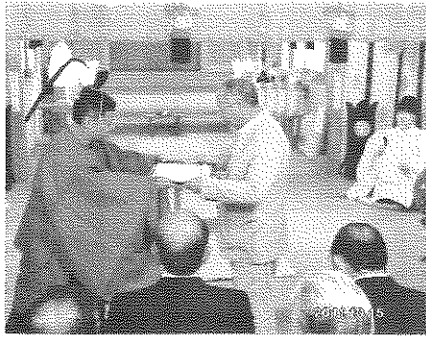
一、大御心をいただきてむつび和らぎ、
国の降昌と世界の共存共栄とを祈ること

阿蘇神社例祭を斎行!!

去る十月十五日に阿蘇神社の例祭が斎行されました。

阿蘇神社は天文三年(一五三二)當時喜々津の領主であった西郷右見守が熊本県一の宮の阿蘇神社より御分霊をいただき、喜々津の総鎮守として神社を建立して祀つた日とされ、今年に御鎮座四七七年になります。

定刻宮司以下祭員が参進。先ず御本殿の御扉を開き、神饌とともに神社本庁の幣帛料・長崎県神社庁よりの玉串料が供えられました。



— 徳永孝次氏へ感謝状贈呈 —

御鎮座の往時を偲ぶとともに、神恩感謝と更なる御加護を祈念する祝詞を宮司が奏上、引き続き巫女が笛太鼓に合わせ、神楽舞を奉納、次いで宮司以下参列者の代表者が玉串奉奠を行い、平成二十三年の例祭を終了しました。

また当日は、昨年末に由来掲示板を奉納された徳永建設(株)徳永孝次氏へ感謝状が授与されました。その後社務所へ移動し直会を催し例祭を祝いました。

例大祭に際し左記の通り、ご献納を賜りました。ご芳名を記しお礼を申し上げます。《順不同・敬称略》

◇幣帛料及玉串料
神社本庁・長崎県神社庁

◇供 米 草野千鶴子

◇初穂料 徳永建設(株) 徳永孝次、多良見町漁協組合長 木下

和幸、松本 淳、松本卓郎、(有)森商会 森 誠司、山口初實、(株)森

開発 森 強、松尾一彦、松崎章雄、山中征二、福井英俊、峰 一

孝、北島守幸、八江利春、中村和

廣、中村眞夫、白石幸男、山田豊明、草野 榮、寺田照巳、金水勝美、溝上一盛、向井徳磨、松尾清人、吉野 徹、宮嶋 博、大久保治賢

◇献 酒 十八銀行多良見町支店
店長・伊藤雅博、親和銀行多良見支店長・前田圭介、たちばな信用金庫多良見支店長・中島将博、前田信太郎 以上

昭和初期に国への届け書に添付された「阿蘇神社」の全文をそのまま掲載します。是非読んでみて下さい。

當神社は肥後國官幣大社阿蘇神社の御分霊にして天文三年^甲仲秋九月時の領主西郷石見守當村鎮守として勸請せられ木床名の神地を撰して神祠を建立し神威の尊嚴を示現し人民に諸事の警衛に當らしめ阿蘇神社と称号し健甃龍命を奉祀する所なり。爾來領主の尊崇淺からず人民の崇敬信仰亦日々篤く守衛を乞ふ者多く領主の許可を得て参集し恰も神祠の圍を為すに至る。依つて地名を圍と稱するに至り。

寛永元年^甲當村正法寺二代の住職傳譽上人肥後國阿蘇神社宮司の男なりしを似て縁由特に深きが故其の信仰極めて厚く、随つて氏子と同心協力して清淨の地を撰し社殿を現在鎮座の地に奉遷す。其れより此の地を稱して阿蘇ノ島と曰く。爾來氏子の尊崇益々深厚にして寺僧も代々其の意を繼承し崇敬奉仕の誠を尽くせり。

然るに明治元年神佛混淆廢止の官令に依り寺僧の奉仕を禁止し明治七年五月村社に列せられ同年祠掌を命ぜられ是れ神職主任奉仕の始めとす。

尚弘化元年^辰二月火災に罹り年代記等の書類等悉く焼失したるため詳細なる点不明なり。

明治四十一年勅令第四十二号に基づき大正二年二月十八日神饌幣帛料供進神社に指定せられたり。

奉納相撲大会終了!!

九月十九日に恒例の奉納相撲大会が開催されました。今年の相撲大会には、町内外の小中学生多数が参加し、団体戦・割相撲・抜き相撲などが行われました。

心配された雨も大会終了まで降ることなく、予定された取り組みは全て行われ、神社の杜は終日賑わいました。

当日の成績は以下の通りです。

▼中学生団体の部

優勝 大村 A

準優勝 吾妻中

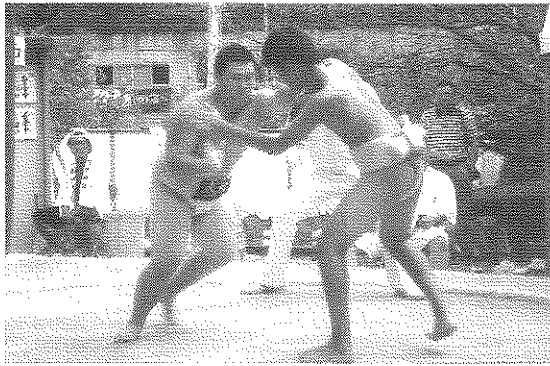
三位 喜々津中

阿蘇神社の奉納相撲大会は、穂上祭という神事に伴う「神賑行事」とされています。穂上祭とは、春の田祈禱祭で豊作祈願をした米が順調に生育していることを感謝し、秋の稔りを賜うことを祈念する祭りで、阿蘇・丸尾一区の住民が祭主として行われている祭典です。

相撲大会には町内の子供等の外に近隣各町よりの参加もあり、町對抗戦や学年ごとの抜き相撲が行われました。また諫早農高の相撲部も参加し、全国レベルの迫力あ

る相撲が披露されました。

例年相撲大会の開催に尽力いただいている阿蘇神社奉納相撲大会実行委員会(松尾義光会長)の皆様方、また抜き相撲へ賞品の提供をいただいた商店、運営資金の協賛をいただいた関係各位に対し心より感謝を申し上げます。今後とも伝統ある阿蘇神社の相撲大会が継続されますよう、ご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。



— 力強い中学生の相撲 —

§ 総代会便り §

近年総代会の活動を含め、神社の行事等への問い合わせが多くなりました。氏子の皆様に関心を持っていただくことは、神社としても喜ばしいことであり、平成二十三年度の概要(含予定)を記します。

四月一日 神社総代異動

退任 西川内 溝上盛夫 殿
就任 西川内 溝上一盛 殿

四月二十五日 監査会

評議員より選出された監事二名が前年度の会計監査を行う。

五月二十四日 評議員会

総代会の予決算書を審議し、総代会の事業計画等を協議しました。奉納相撲大会収支も実行委員会より報告された。総代会の二十三年度の監事は左記の通り選出されました。

◇ 監事新任

西川内 松尾一彦 殿
停車場 上之 睦 殿

七月一日 境内西側の舗装工事

工事は(有)南部建設工業に委託する。

七月十一日 西彼支部総代会

恒例の総代会総会及び研修会で、総代二〜三名が参加する。

西彼町で開催され、大久保治賢総代が勤続五年以上により西彼支部長表彰を受賞した。

九月五〜六日 中央研修会

総代会の県の研修会で、例年四〜五名が参加している。今回は長崎市で開催され、前田信太郎総代会長が多年の功績により長崎県神社庁長表彰を受賞した。

九月十八日 化屋名浮立奉納

化屋名浮立が奉納され、宮司・総代会長より御神酒と御花が贈呈された。

九月十九日 奉納相撲大会

穂上祭に引き続き恒例の奉納相撲大会が開催され、総代会長が奉納お礼の挨拶をした。

十月十四日 注連縄取り付け

例祭前日のため、第一鳥居他への注連縄、竹と椎の木の飾り付けを行う。

◇ 以降は予定

十一月二十三日 新嘗祭
十二月二十三日 注連縄作り

十二月二十九日 正月前飾り付け

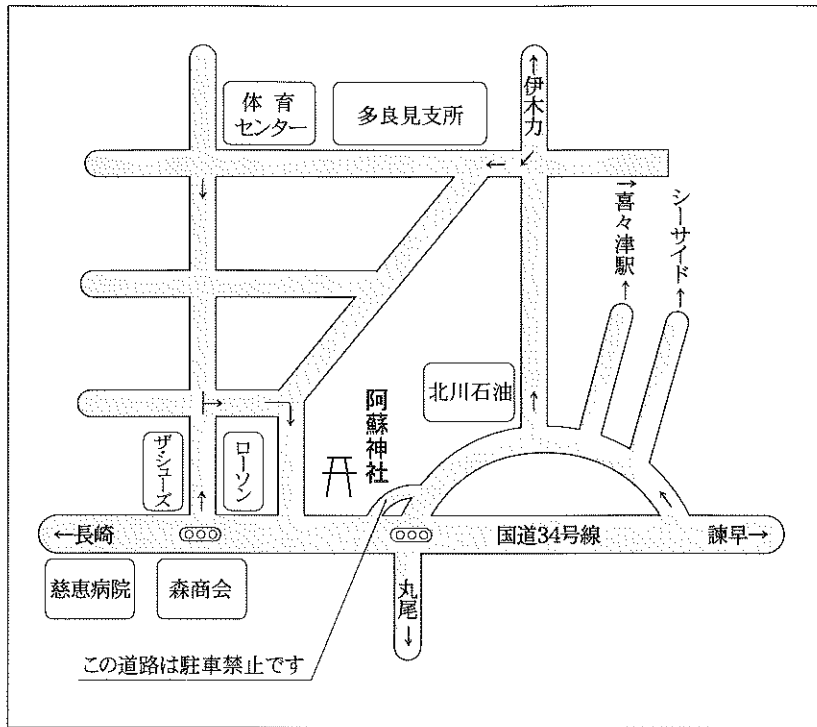
十二月三十一日 初詣客の接待他
一月中旬 節分祭の準備

二月三日 節分祭

二月四日以降 節分祭の後片づけ

七五三詣は阿蘇神社へ!!

男女三才を『髪置』、男児の五才を『袴着』、女児七才を『帯解』または『紐解』と称し、いずれも子供の健やかな成長を願う行事です。ご家族お揃いでご参拝下さい。



平成二十三年の七五三祝 数え年

男	女
五 歳	七 歳
平成十九年生	平成十七年生

◆十一月六日(日曜)、十二日(土曜)、十三日(日曜)、十五日(火曜)の四日間は七五三を中心に参加受付です。
 ☆受付時間 午前十時〜午後四時
 これ以外の日時にご参拝予定の方は、出張祭典などで留守をすることもございますので、お手数ながら事前に予約をお願いします。
 ☆駐車場に限りがございます。乗り合わせてお越し下さい。

◆編集後記◆
 九月二十八日に外海町の棚田で、西彼支部の抜穂(ぬいぼ)祭が行われました▼刈り取った稲穂は精米し、管内の神社へ献穀米として奉納されます。阿蘇神社では十一月二十三日の新嘗祭で神前に供えられます▼今昭和初期の由緒を掲載してみました。先人から伝えられた由緒書きですから修正することなく次代へ伝えたいと思っています▼他の文献によると、御本殿と社務所は江戸期以降、幾度かの火災のために焼失しており神社や祭典等の文書・写真の類が現存しないのが残念です▼由緒には先人の信仰者が秘められているように感じます。

お知らせ

◎お正月の巫女さん募集

お正月の臨時巫女さんを募集しています。

- ・勤務時間の関係で、十八歳以上の方を希望します。
- ・募集人員 二〜三名
- ・お問い合わせ先
社務所 TEL四三―五二三五